

「お医者さんや近所の方にも 支えられています」

～高齢者世帯の在宅ケア～

C夫婦
例

1 Cさん夫妻は、息子さんが仕事で
県外へ転勤することになり、2人
で暮らすことになりました。



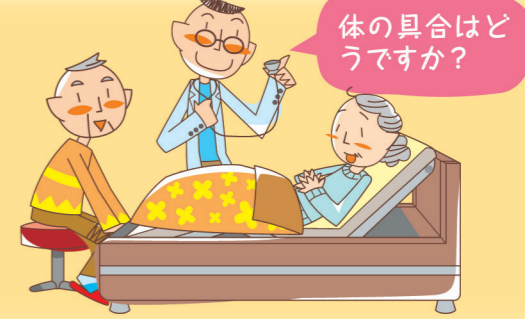
2 Cさん夫妻はこれまで、息子さん
の車で通院していました。
これから2人だけでは通院がで
きなくなります。



3 相談を受けた息子さんは、地域
包括支援センターを訪ねまし
た。



4 Cさん夫妻は、在宅でのサービスを調
整してもらうことができました。
今でも自宅で診察や日常の介護を受け
ながら、仲睦まじく暮らしています。



高齢者だけの生活... どこまで支えて もらえるの？

介護保険を利用したサービスを組み合わせることで、暮らしのさまざまな不安をカバーしていただくことができます。

- 毎日の掃除
- 冷蔵庫の食材で調理
- 買い物の代行
- 衣類の洗濯・整理



Cさん夫妻の在宅でのサポート体制

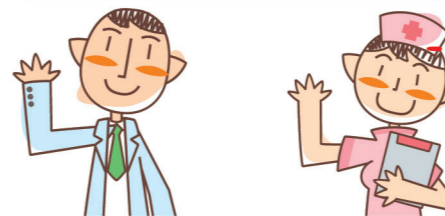
日常の介護ケア



ヘルパー ケアマネジャー 訪問看護師

ケアマネジャーと連絡を取り合いながら、洗濯や調理、掃除といった普段の暮らしで必要とされることをすみずみまでサポートしてもらっています。

自宅での治療



医師 訪問看護師

医師が月に1、2回、訪問看護師は定期的に訪問し、日々の状態確認や必要な処置をしてもらっています。

病院のバックアップ

急変した時の入院
受入れを行います。



連携

薬剤師のサポート

自宅に訪問して、残っている薬の整理や日々の服用のアドバイスを
行います。



連携

もの忘れが増えて 薬を飲んだか覚えていない...

もの忘れが増えてくると、薬の管理や服用がおろそかになりがちです。
薬剤師に訪問してもらい、残っている薬を整理してもらったり、飲み忘れがないように服用する時期を示したカレンダーを作ってもらいましょう。

地域住民との つながり



身近に住んでいる人と関わりを持って、安否の確認や日ごろの相談を受けられるようにしています。